

CERAMICSPEED

Oversized Pulley Wheel System for SRAM eTap Mounting & Maintenance



取付けおよびメンテナンス

CeramicSpeed Oversized Pulley Wheel System SRAM eTap用をお買い上げいただきありがとうございます。

世界中のCeramicSpeedユーザーがまた一人増えたことを嬉しく思います。Oversized Pulley Wheel Systemは、デンマークで開発および手作業にて生産され、CeramicSpeedのベアリングボールや高品質のブランドから選んだ構成部品を使用しています。

世界最高性能を誇るセラミック製ベアリング製品とレース向けに最適化されたチェーンを製造する当社の目標は、ライダーのパフォーマンス向上を手助けする製品をお届けすること。必ずや、お買い上げいただいた製品を気に入っていただけることと思います。

その性能を少しでも持続させるべく、Oversized Pulley Wheel Systemを正しく取り付け、メンテナンスすることが重要です。このマニュアルに記載された技術情報をご覧になり、理解に努めましょう。ご不明な点や問題がございましたら、最寄りのCeramicSpeed取扱店または当社カスタマーサービスまでお気軽にお問い合わせください。

それではCeramicSpeed製品で、楽しく安全なライドをご体験ください。

CeramicSpeed



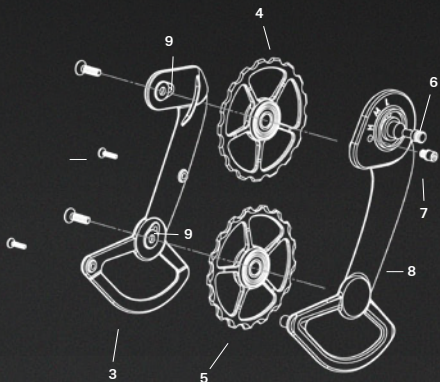
Martin Banke

Managing Director

Part of the Victory

Mounting Manual

取付方法



Pos. 名称

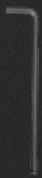
1	プーリーホイールボルト
2	タワーボルト
3	バックケージプレート
4	アッパープーリー
5	ロープーリー
6	ケージピボット
7	回転ストップボルト
8	フロントケージプレート
9	プーリーホイールの潤滑部

必要なツール

CeramicSpeed Oversized Pulley Wheel SRAM eTap (以下、OSPW) の取付けには以下のツールを使います。



A



B



C



D

A. チェーンツール

B. 2.5mmの六角レンチ

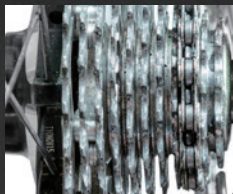
C. 小型のマイナスドライバー

D. Torx T6 レンチ(製品に付属)

Mounting the CeramicSpeed Oversized Pulley Wheel System for SRAM eTap

取り付け方法

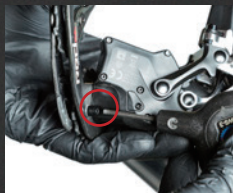
最高の走行性能を発揮させるべく、OSPW(SRAM eTap用)を以下の手順に正しく従って取り付けましょう。



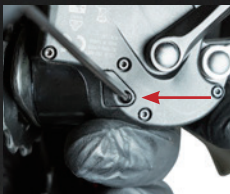
1. バイクをスタンドに固定します。カセットのトップギアに変速し、リアホイールを取り外します。



2. 適切なチェーンツールでチェーンを外します。OSPWを取り付けたら、新品で未カットのチェーンが必要です。使用済みのチェーンにリンクを追加することは推奨しません。



3. ディレイラーハンガーを半時計方向(スプリングのテンションが増える方向)に慎重に回し、プリーケーjの回転ストップボルトにアクセスします。2.5mmの六角レンチでこのボルトを外し、保管します。プリーケーjが上下逆さまかつやや前方を向くまで、スプリングのテンションをゆっくりと解放させます。



4. ディレクター全体を時計方向に回し、ディレクター本体裏側が見えるようにします。
三角形のドアパネルを見つけ、T6 Torxボルトを取り外します。ドアパネルとボルトは後で使うため、保管します



5. ドアパネルの裏にはケージ固定ピンがあります。
プーリーケージー式をアッパープーリー(ケージピボット)側で押さえながら、小型のマイナスドライバーで固定ピンを慎重に引き抜きます。



6. 固定ピンをまっすぐ引き抜くと、ケージピボットがディレクター本体から分離します。
固定ピンを取り外したら、プーリーケージー式をディレクター本体から慎重にスライドさせて外します。

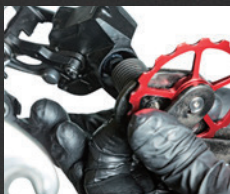


7. 2.5mmの六角レンチで回転ストップボルト(7)を外し、OSPWを取り付ける準備をします。
OSPWのケージピボット(6)の先端にグリスを軽く塗ります。



8. OSPWの取付けでは、スプリングのテンションをH(ハイ)、M(ミディアム)、L(ロー)から選んでセットします。

Lにセットすると、チェーンのテンションとスプリングの抵抗が減りますが、変速性能もやや落ちます。Hにセットすると、最高の変速性能を得られますが、LやMよりもスプリングの抵抗がやや増えます。



9. OSPWをディレラー本体後部で上下逆さまにセットします。位置を合わせたら、ケージピボット(6)とテンションスプリングをディレラー本体に奥まで挿入し、滑らかに動くことを確かめます。内部や回転時に噛み込みや引っ掛かりがあってはいけません。



10. プーリーケージをディレラー本体に押さえつけ、固定ピンをディレラー本体に挿入します。ディレラーを上下逆さまにすると固定ピンが脱落せず、作業が簡単です。固定ピンがディレラー本体の奥まで入ると、プーリーケージが外側に脱落しなくなります。



11. ディレラー本体を手で押さえながら、T6 Torxボルトの位置を正しく合わせて締め付け、三角形のドアパネルを取り付けます。



- 12.** OSPWケージは完全に前方を向いているはず
です。ケージを半時計方向に回してスプリング
のテンションを強め、回転ストップボルト(7)の
穴にアクセスします。

ケージを前方に向かって押さえ、2.5mmの六角
レンチで回転ストップボルトを0.3Nmのトルク
で締め付けます。ケージを押さえていた手の力を
ゆっくりと弱め、ケージを回転ストップボルトに
当たる元の位置まで戻します。



- 13.** ディレイラーをカセットのトップギアに変速し、
リアホイールを取り付けます。リアの変速はその
まま、フロントチェーンリングをローギアに変速
し、新しいチェーンを取り付けます。

チェーン底部とアッパープーリーホイール(4)
に間隔ができるまで、チェーン長を短くします。
アッパープーリーホイールとカセットのトップギアに
小さな間隔ができるまで、Bテンションボルトで
調整します。



- 14.** Bテンションボルトとチェーン長の調整が終わっ
たら、カセット上側のギアの間隔を確かめます。
チェーン長が最長だと、変速時の抵抗が最も少
なくなります。

滑らかな変速には、ハンガーの位置調整が欠か
せません。専用のアライメントゲージを使い、
OSPWを正しく位置決めしてください。

Maintenance

メンテナンス

Oversizes Pulley Wheel (OSPW) のメンテナンスを適宜行いましょう。頻度は走行される地域の気候により変わります。

摩耗したチェーンをそのまま使用すると、プーリーホイールも著しく摩耗するため、チェーンが摩耗する前に交換してください。OSPWの点検は、雨天時の走行、洗車、またはチェーンの潤滑後に行いましょう。

通常のメンテナンスでは、潤滑部(9)にオイルを一滴垂らします。この潤滑部は、バックゲージプレート(3)にあります。OSPWを水平に保ち、オイルをプーリー内のベアリングに届かせましょう。



OSPWにはCeramicSpeed Oilの使用を推奨します。このオイルは世界各地のCeramicSpeed取扱店またはウェブショップにてご購入いただけます。CeramicSpeed.comのサポートページで、メンテナンスの紹介ビデオをご覧ください。

OSPWはバイク用トラベルバッグに適合しないため、遠征時にはリアディレーラーごと取り外して持ち運んでください。

EXTENDED MAINTENANCE

拡張メンテナンスについて

拡張メンテナンスを半年ごとに行いましょう。

その際は、OSPWと左右両側のシールをディレーラーケーシングから取り外し、ディグリーザーで全てのパーツを洗浄します。

その後、パーツを乾燥させ、CeramicSpeedのベアリングボールにオイルを2滴垂らし、OSPWとシールを元の位置に取り付けます。

ケーシングプレートを取り外す際は、プーリーホイールボルト(1)を2.5mmの六角レンチで、タワーボルト(2)を2mmの六角レンチで緩めます。

各ボルトを取り付ける際は、プーリーホイールボルトを1Nmで、タワーボルトを0.3Nmのトルクで締め付けます。その際はトルクレンチをお使いください。雨天時やマッドコンディションを走行され場合は、拡張メンテナンスをより頻繁に行い、All Round Greaseで各部を確実に保護しましょう。